

守り抜いてきた伝統の橋を未来に繋ごう～プロジェクト1184～ 開催報告

日 時：令和7年11月5日(水) 9:15～11:40 場 所：岐阜県加茂郡七宗町内

参加者：神淵小学校の5,6年生16名 七宗町役場、丸ス産業㈱（技術指導）、中部F事務局

後 援：中部地方整備局、東海コンクリート診断士会、岐阜県構造物強靱化技術協会

■ 開催の経緯

- インフラを維持管理していくための予算や人の確保が厳しい環境にある中、地域住民を交えたメンテナンスの仕組みづくりをしていきたいという町の想いを形にしたい（昨年度からの継続イベント）

■ 開催目標

- 子供たちに、橋梁の塗装塗り替え作業を通じて土木について学んでほしい
- これを機に、児童の親や地元の方々がインフラに興味を持ってほしい
- さらに、自分たちの手で補修することで、地元のインフラに愛着を持ってほしい



■ 座学 (9:20～10:00)

- 手始めクイズ（七宗町の橋の現状）
- 土木ってなに？
- 七宗町のいま（クイズの答え合わせ）
- 橋のなおし方（定期的な維持管理の重要性）
 - ・ 児童のほか、先生もクイズにチャレンジ！
 - ・ 全問不正解の大人も・・・
 - ・ あたりまえの生活をするには、インフラの維持管理がとても重要



■ 塗装塗り替 (10:20～11:40)

- 役場にほど近い飯高橋へ移動
- 塗装色は七宗町のシンボルカラー（青緑色）
- 施工業者さんが上手なペンキの塗り方を伝授
- 1スパン/人の役割分担
- 上級生だけあって、大人顔負けの塗装技術
 - ・ 4人1班のチーム戦だったが、保護具を着用すると誰が誰だか・・・
 - ・ 教育長をはじめ、近隣の住民や新聞社が訪れた
 - ・ 優勝チームには、後日表彰状が授与された

